

プレスリリース

平成21年4月24日
(社) 国土緑化推進機構

第20回「みどりの文化賞」受賞者の決定について

(社) 国土緑化推進機構は、第20回「みどりの文化賞」受賞者を、下記のとおり決定いたしました。

「みどりの文化賞」の表彰は、来る5月9日、日比谷公園小音楽堂前広場で開催する第20回森と花の祭典「みどりの感謝祭」の式典において行います。

「みどりの文化賞」受賞者には、

- ア みどりの感謝祭名誉総裁秋篠宮殿下の表彰状
 - イ 社団法人国土緑化推進機構からの賞牌
- が授与されます。

受 賞 者 きた むら まさ み
北 村 昌 美 氏

問合わせ先： (社) 国土緑化推進機構
担当：矢 内 電話3262-8451

第20回「みどりの文化賞」受賞理由等

森林と人との豊かな関わりを目指して

- 北村昌美氏は、昭和30年山形大学に教官として就任以来、農学部長などを歴任し、その間、大学の管理運営、教育・研究に尽力され、数多くの優秀な人材の育成に貢献した。

森林計測学の分野で、林分材積（森林内に存在する樹木の幹の体積合計）を推定する画期的な方法を確認し、林業における統計的手法を飛躍的に発展させた。この成果により、昭和48年にフライブルク大学（西ドイツ）客員教授に招聘された。

- 各国住民の森林意識に関する調査を長年実施し、人々の生活に多様な恩恵をもたらす森林と、その多面的な機能への人々の期待は画一的なものではなくその国や地方の文化を反映したものとの多くの研究成果から、日本人の自然認識、森林と文化の関係についての思索を深め、数多くの著作を発表した。

その一つの「森林と日本人」（平成5年）は、人間と森林の交流や森林への期待変遷を林学者の目で分析し、日本人の自然観を描き出したものである。

こうした森林文化に関する研究並びにその教育、啓蒙活動の功績により、平成16年、日本林学会功績賞を受賞した。

- 平成4年から中央森林審議会（現林政審議会）委員を、また8年から4年間、同審議会会長として、森林環境教育の推進、森林での多様な活動の展開、森林づくりへの国民の直接参加などを通じて、森林と人との豊かな関わりを持つ、21世紀型森林文化と新たな社会の創造を目指す「今後の森林の新たな利用の方向」を取りまとめた。

国民レベルでの森林の活用に向けた提言であり、将来の森林の創造のあり方に対する国民の責務とは何かとの問題提起は、今日、全国で展開している「美しい森林づくり運動」の底辺を形成したとも言える。

- このように、「森林と文化」に係わる学術的研究に加え、森林文化を土台に据えた21世紀の新しい森林行政の基本方針を示すなど、その豊富な学識経験を生かし、我が国の森林・林業政策の策定に多大な貢献をされた功績は高く評価されるものである。

北村昌美氏の経歴等

1. 略歴等

大正15年7月30日	生まれ（兵庫県）
昭和25年	京都大学農学部林学科卒業
昭和30年	山形大学農学部助教授
昭和45年	山形大学農学部教授
昭和46年	山形大学農学部附属演習林長
昭和48年	フライブルク大学（西ドイツ）客員教授
昭和63年	山形大学農学部長
平成4年	山形大学名誉教授 中央森林審議会委員
平成8年	中央森林審議会会長
平成12年	山形県森林審議会会長
平成17年～現在	山形県みどり推進機構理事長
平成19年	山形県鶴岡市「名誉市民」

2. 受賞歴

昭和50年	日本林学会賞
平成3年	日本雪氷学会功績賞
平成16年	瑞宝中綬章（教育研究功劳）
〃	日本林学会功績賞

3. 主な著書

森林と文化—シュヴァルツヴァルトの四季
森林と日本人—森の心に迫る
森を知ろう、森を楽しもう—森林彩時記
森を見る心
草原の思想・森の哲学
ブナの森と生きる
森よよみがえれ—文化森林学への道
森林計測学

みどりの文化賞について

1 趣旨

緑豊かな国土と新しい森林文化の創造に資する観点から、平成2年（社）国土緑化推進機構は「みどりの文化賞」を創設、緑や森林に関して顕著な功績のあった者（個人または団体）を対象として顕彰している。

2 選考方法

広く学識経験者等から候補者の推薦を受け、それに基づいて有識者で構成する「みどりの文化賞選考委員会」において受賞者を決定する。

3 表彰

「みどりの月間」中に開催される「みどりの感謝祭」の式典において表彰し、みどりの文化賞受賞者には、

- ① みどりの感謝祭名誉総裁（秋篠宮殿下）の表彰状
 - ② 国土緑化推進機構会長の賞牌
- を授与する。

みどりの文化賞選考委員（五十音順）

青 山 佳 世	フリーアナウンサー
倉 本 聰	自然・文化創造会議議長 作家
佐々木 恵 彦	日本学士院会員 日本大学総合科学研究所教授
渋 澤 寿 一	特定非営利活動法人 樹木・環境ネットワーク理事長
立 松 和 平	作 家
田部井 淳 子	登山家
滑志田 隆	ジャーナリスト（元毎日新聞編集委員）
西 澤 潤 一	首都大学東京 学長
古 川 清	元東宮大夫
宮 林 茂 幸	東京農業大学地域環境科学部 学部長 (敬称略)

「みどりの文化賞」のこれまでの受賞者

- 第1回 戦後の森林造成と国土緑化
徳川宗敬 氏 (故人)
- 第2回 木の文化の継承、発展に貢献した者
西岡 常一 氏
- 第3回 森林と水との関わりを社会にひろめる
財団法人 水利科学研究所
- 第4回 森林と水の守り手, 山村を支える
黒澤 丈夫 氏 (群馬県上野村村長)
- 第5回 森林と水の守り手, 山村を支える
宮崎県諸塚村
- 第6回 ボランティア活動による森林づくり
草刈り十字軍
- 第7回 持続的森林経営をめざす森林づくり
高橋 延清 氏
- 第8回 大都会のなかでの自然豊かな森林づくり
明治神宮の森
- 第9回 海を蘇らせた森林づくり
えりも岬の緑を守る会
- 第10回 「森林文化」の新たな展開
筒井 迪夫 氏
- 第11回 民間公益団体による緑化活動支援
ゴルファーの緑化促進協力会 (GGG)
- 第12回 上下流の協力による森林づくり
(財) 矢作川水源基金
- 第13回 国際緑化活動の推進
神足 勝浩 氏
- 第14回 地方自治による山村活性化への取り組み
松形 祐堯 氏
- 第15回 国民参加の森林づくり運動の推進
高木 文雄 氏
- 第16回 民間団体等による「国民参加の森林づくり」運動支援
株式会社 ローソン (ローソン緑の募金)
- 第17回 森林を活かし、木の文化の伝承に貢献した者
小原 二郎 氏
- 第18回 森林文化を未来に引き継ぐ森林管理
神宮司庁営林部 (伊勢神宮宮域林)
- 第19回 民間団体による国際緑化活動の推進
(財) オイスカ

